

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010334

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 【平成30年度】 舗装補修工事(路上路盤再生工) 曙5号線 L=400m、W=5.5m
基本施策	16 交通体系の整備	事業優先度	A	
単位施策	1 道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	道路ストック総点検事業	見直し年度		
事業期間	平成26年度～平成29年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	各施設点検項目数・舗装補修延長		#N/A	
事業目標	6項目・470m	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	【平成26年度】 道路ストック総点検 舗装101.3km、照明108基、法面15箇所、 防雪柵506基、大型視線誘導標62基、 大型標識10基		・舗装 101.3km ・照明 128基 ・法面 1,200㎡ ・防雪柵 2,000m ・大型視線誘導標 121基 ・大型標識 10基	・舗装補修工法検討 3路線 ・法面 24箇所	・舗装補修工事(オーバーレイ工) 雄武高校線 L=120m、W=7.0m	・舗装補修工事(路上路盤再生工) 曙5号線 L=350m、W=5.5m
	【平成27年度】 ・舗装補修工法検討:3路線、法面点検:24箇所					
	【平成28年度】 舗装補修工事(オーバーレイ工) 雄武高校線 L=120m、W=7.0m					
	【平成29年度】 舗装補修工事(路上路盤再生工) 曙5号線 L=350m、W=5.5m					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	51,900	0	32,500	3,400	4,000
	財源内訳	35,784		22,750	2,380	2,800
	国庫支出金	0				
	道支出金	5,300				1,200
	地方債	0				
その他	10,816		9,750	1,020	46	
一般財源	49,842	0	31,158	3,132	3,888	11,664
実 績 事 業 費	事業費(千円)	34,358		21,811	2,192	2,721
	財源内訳	0				
	国庫支出金	0				
	道支出金	4,000				4,000
	地方債	0				
その他	11,484		9,347	940	1,167	30
特 定 財 源	特定財源の名称 社会資本整備総合交付金 (補助率7/10) H29年度(補助率6.545/10) ・地方債(過疎)100%	【評価・実績】	(実施内容等) ※事務事業評価結果	(実施内容等) 【繰越明許分;H25補正】 ・舗装101.3km ・照明111基 ・法面15箇所 ・防雪柵506基 ・大型視線誘導標 65基 ・大型標識 10基 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・舗装補修工法検討 3路線 ・法面 24箇所 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・舗装補修工事(オーバーレイ工) 雄武高校線 L=120m、W=7.0m ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
			(実施内容等) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・舗装補修工事(オーバーレイ工) 雄武高校線 L=120m、W=7.0m ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・舗装補修工事(路上路盤再生工) 曙5号線 L=205m、W=4.0m ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	6項目	舗装補修工法検討3路線、法面24箇所	舗装補修延長120m	舗装補修延長350m
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	96%	92%	97%
	全体達成率	0%	60%	66%	74%	
	備考欄					

事業名	道路ストック総点検事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	田原 慎也
		評価者 作成者 職氏名	土木管理係	大庭 悟

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	舗装補修延長								
【抱える課題やニーズは】	道路施設の老朽化に伴う道路利用者への被害	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	舗装補修によるひび割れ、わだち掘れの解消	① 舗装補修延長/舗装補修延長	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>205 m</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>205 m</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0 %</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	205 m	実績値	205 m	達成度	100.0 %
目標年度	平成29年度										
目標値	205 m										
実績値	205 m										
達成度	100.0 %										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	道路利用者の安全な通行の確保	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0! %</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	〇〇	実績値	〇〇	達成度	#DIV/0! %
目標年度	平成29年度										
目標値	〇〇										
実績値	〇〇										
達成度	#DIV/0! %										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間委託による工事の実施	入札により民間業者に工事を発注し、舗装補修を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	道路利用者の安全を確保することは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、安全な通行が確保されたことは、有効であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	当該事業を実施したことにより、安全な通行が確保されたことは、効果的であると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	道路環境の向上が図られたことは、不特定多数の道路利用者に対して、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
道路利用者の安全な通行を確保するためには、計画どおり事業を進めることが適当であると判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
安全な通行の確保を図ることは必要不可欠であることから、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止